

さくら



本庄児玉病院

広報誌第15号

contents

- 2017年新年のご挨拶・・・・・・・・・・ P 1
- 2017年新年のご挨拶・・・・・・・・・・ P 2
- 院内行事・・・・・・・・・・ P 3
- 院内研修・・・・・・・・・・ P 4
- 作業療法室だより・・・・・・・・・・ P 5
- 外来患者延数・入院患者数・・・・・・・・ P 6
- 栄養課「クリスマスメニュー」・・・・ P 6

〒367-0212

埼玉県本庄市児玉町児玉 720

Tel.0495-73-1611

Fax.0495-73-1616

本庄児玉病院

院長 高野 覚

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり、心より御礼申し上げます。

これまでの皆様の多大なるご協力により、昨年11月にて、当院も開院から8年目に入りました。改めて心より御礼申し上げます。これからも、患者さまにより良い医療・介護を提供し、地域の皆さまに愛される病院となるよう、理念に掲げております「笑顔と愛の心で全人医療へ奉仕」して参ります。

昨年も、本庄市立児玉中学校、早稲田大学本庄高等学院、東京福祉大学の生徒の皆様を始め、多くのボランティアの方々にご協力への慰問演奏等にお越しいただき、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

また、当院へはこれまでも様々な科の先生方にご協力頂いて参りましたが、現在は、東大放射線科や内科出身の先生方や、皮膚科や歯科の先生方にも毎週お越し頂けて、以前にも増して診療体制が充実して参りました。今後も体制の維持と、さらなる充実へ向けて、努力していく所存です。

病院全体としましても、今後も精進して参りますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本年も皆さまにとりまして、幸せに満ちた充実した一年となりますよう心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

事務長 丸山 浩樹

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、11月1日開設8年目を無事に迎えることが出来ました。

お陰さまで、近隣地域はもとより、他県からも数多くのお問い合わせをいただけるようになりました。本当に有難いことだと思います。

今後更に高齢化社会となっていく訳ですが、認知症専門病院である当院の社会的役割はますます重要になってきます。

従いまして、本庄児玉病院としては更に良質な医療・介護の提供を行なっていかなければならず、職員一人一人が真剣に考えていかなければならないと思います。

また、より一層地域に貢献できるように、様々な活動を行なっていきたいと考えています。

本年も、皆さまの益々のご発展を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

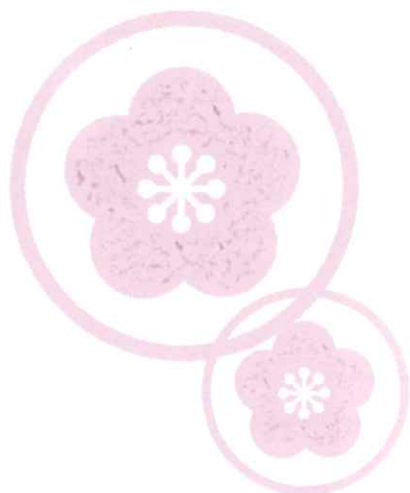


総師長 鈴木 安子

新年明けましておめでとうございます。

厚生労働省の発表された推計によると団塊の世代が75歳になる2025年には認知症患者が700万人に上ると言われています。認知症は高齢者の多くが発症する障害であり、環境の変化や病気の合併症としては発症するケースも多々あると考えられます。

当院は認知症に特化した病院で、今年も創立8年目に入ります。安心・安全・安楽に入院生活が送れるよう環境作り、根拠に基づいた看護ケアを学び認知症看護の質の向上に努めたいと思いますので今年も宜しくお願い致します。



3階病棟師長 黒澤 晴美

新年明けましておめでとうございます。

役職となり数年が経ちますが、まだまだ未熟な私は、日々皆さんに支えられながらがんばっています。いたらない点が多々ありますが、努力し、一つ一つ乗り越え、総師長・主任と協力し合い、より良い職場作りを行い、そして患者さんに安全・安心・満足のいく看護を提供できるように努力していきたいと思っています。これからもご指導よろしくお願い致します。

2階病棟師長 黒井 さおり

明けましておめでとうございます。

昨年はキャラバンによる外出等、他職種共同での新しい取り組みが始まりました。外出先も少しずつ増え、色々な所に出かけています。今年は昨年より一歩踏み込んだ、より良い療養環境の提供を目標に職員一同協力していきたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い致します。



児玉中学吹奏楽部 慰問演奏会



11月23日児玉中学吹奏楽部の生徒さんが慰問演奏に来てくれました。ソロパート楽器紹介では、それぞれの楽器の特徴を生かした演奏を披露してくださり、綺麗な音色に患者さまも静に耳を傾けていらっしゃいました。



高野院長より感謝の言葉

毎年楽しみにしています。音楽は、体でリズムをとったり、表情が豊かになったり、患者さまの治療になります。いつも感謝しています。ありがとうございます。



クリスマス会

12月21日クリスマス会を行いました♪



院長先生からサンタさんへ
キャンドルサービス



職員によるハンドベル演奏
一生懸命練習しました！！

サンタの正体は！？
すぐに分かってしまいました。いつもお話をする相談員さんだから安心。「知っているよ！分かるよ！」と笑顔がこぼれます！！



あっ！相談員さんだ！！
トナカイの正体は…院長先生！！毎年大人気です！！たくさんの握手を求められトナカイさんは大忙しでした！！



ルーエクラブ合唱団さまがクリスマス会に来てくれました！！
綺麗な歌声、ハーモニー素晴らしかったです！感動のあまり、患者さまからアンコールの声！！予定になかったので、職員は大慌て(笑)予定外にもかかわらず、快くアンコールで「ふるさと」を歌っていただきました。ルーエクラブの皆さまありがとうございました！！

院内感染対策～インフルエンザ、ノロウイルスの感染対策～



10月20日病院感染対策について学びました。

感染防止対策で最も基本となるのは手指衛生である。「自分の手が感染源になりえる」と意識するようにして、より注意深く手洗いを意識し、医療施設で勤務する職員は自身が感染源とならないよう、そして自分の身を守る意味でも基本的な感染予防策を理解して普段から実践していくことが大切だと思いました。

※誰もが安心して入院できる環境を提供するために感染対策は確実に実施していきたいです。

- ◇感染対策の基本は病原体の感染経路を把握し、それに応じて感染経路の遮断を試みることが重要
- ◇感染経路の遮断には、環境消毒・手洗い等を行うことが重要
- ◇環境消毒・手洗い等では適切な消毒薬選びが有効であり適切な方法・濃度で使用する

摂食嚥下リハビリテーション～誤嚥性肺炎の予防と対策～



11月24日
東京医科歯科大学
山崎 康弘先生講師による
摂食嚥下の紹介 VE（嚥下内視鏡）のデモンストレーション



嚥下の状態がどのようになっているか、内視鏡を通してみるができます。実際にやって見せてくださいました。



診察後、アドバイスを頂きました。

消防訓練

12月8日消防訓練を行いました。

避難訓練(初期消火、通報、避難誘導)、消火器の使用訓練、火災報知器の説明、火災受信盤の操作訓練を行ないました。

新人、未経験の職員を優先して訓練しました。



患者さまの非難誘導
※安全に配慮します。



水消火器で使用訓練

※炎や煙にかけても火は消えません。実際に燃えてる物にかけてください。



作業療法室だより

認知症患者様の介護者への支援について ①

認知症のご家族を介護されているご家族様もいらっしゃると思います。今回から数回に分けて、「介護者への支援」という視点で書いて見たいと思います。

認知症の在宅介護は日常生活への介助に加え、認知症の方本人のケアをされることへの抵抗や、行動・心理症状が更に介護者の負担感を増強させています。この負担感は、介護者がどの程度ストレスとして感じるかによっても異なります。認知症の方の行動・心理症状に対して過度に向き合い、その行動を執拗に修正しようとするまじめな介護者ほどストレスは大きく、在宅介護に限界を感じ易いといわれています。時には、介護者の過度に向き合う行動によって、更に症状を深刻化してしまうという悪循環を招くこともあります。従って、在宅生活を継続するには介護者のストレスの軽減が必要不可欠になります。

この介護負担を評価する尺度として、Zarit 介護負担尺度日本語版、同・短縮版というものがあります。短縮版では、否定的な感情として①困る、②腹が立つ、③気が休まらない、④介護放棄、⑤対応法がわからない、の5項目と、社会生活の支障として、①友達と付き合いづらい、②社会参加の機会減少、③友達を自宅に呼べない、の3項目の、合わせて8項目を5段階で評価して点数化します。この他にも、ストレスになる、夜中に起こされて睡眠時間が十分とれない、排泄などの身の回りのケアが多い、本人がケアに対して感謝しないばかりか不満を言う、他の家族が協力をしない、などが介護負担を増やす要因になります。

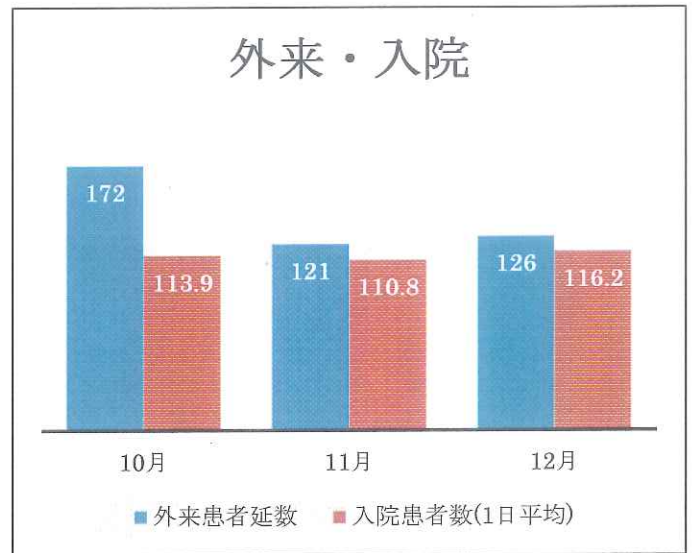
では、どうすれば負担・ストレスを軽減していけば良いか、について書きたいと思います。

「介護を独りで背負わない」

普段は行動・心理症状を繰り返している認知症の人であっても、たまにやってくる家族の前ではしっかりと振る舞い、認知症であることを感じさせない言動をとったりします。短時間では症状を見抜けないので、介護者がいくら大変であると訴えても分かって貰えず、かえって「やり方が悪いからだ」などと介護者が親族や関係者から責められてしまうことがあります。こうして独りでやらざるを得ない状況が作られてしまいましたが、限界になる前になるべく早い段階で、良き理解者を作ることが必要です。このような時には地域包括支援センターや、サービス提供機関のスタッフが相談ののってくれます。介護者教室や家族の会などに参加して、他の介護者と情報交換することも心身の負担軽減につながります。

次回も引き続き、介護負担をどのように軽減させていくかについて、対策や対応方法を書いて見たいと思います。

	月	火	水	木	金
午 前	高野	高野	齋藤	新谷	新谷
午 後	齋藤	高野	齋藤	新谷	新谷



栄養課



クリスマスメニュー

赤と緑のクリスマスカラーを取り入れ、華やかになるよう工夫しました。ミートローフは形が崩れない程度に柔らかい食感に仕上げ、歯の悪い方でも食べやすいようにしました。野菜もたっぷり栄養バランスを考えた献立です。クリスマス会の後にはストロベリーケーキ又はストロベリーババロアとコーヒーをご提供しました。ケーキはスポンジといちごクリームが層になったもので、ババロアはいちごソースでアクセントを加えました。患者さまからは美味しかったと喜びの声をいただきました。



- ・御飯
- ・ミートローフ
- ・ベーコンポテト
- ・キャベツサラダ
- ・コンソメスープ



- おやつ
- ・ストロベリーケーキ又は
ストロベリーババロア
 - ・コーヒー

理念

患者さまの権利と尊厳を尊重し、笑顔と愛の心で
 全人医療へ奉仕します

基本方針

1. 私達は、地域に密着した精神科医療の提供と的確な認知症のケアを実践します。
2. 私達は、患者さまの意思と人権を尊重し、心の通った、愛の心で医療を提供します。
3. 私達は、患者さま並びにご家族の信頼を得、満足度の向上に努めます。
4. 常に医療技術の研鑽と知識の習得に努め、安全で良質な医療を提供します。
5. 私達は、理念達成のため、健全経営の維持向上に励みます。

患者さまの権利

当院では、患者さまと信頼関係で結ばれた「患者さま中心の医療」を行うことを目指しています。ここに「患者さまの権利と責任」を掲げ、これを尊重致します。

- ・安全で適切な医療を公平に受ける権利があります。
- ・人権とプライバシーに配慮される権利を有します。
- ・検査、治療、その他の医療行為に同意し、選択あるいは拒否することができます。拒否した場合においても不利益を生ずることなく、同様な治療を受けることができます。
- ・医療の情報を知り、セカンドオピニオンを受ける権利があります。
- ・精神保健福祉法等の法律に基づいた適切な手続きが保障される権利があります。

患者さまは、以上のもと、治療上のルールを守り、医療を受ける権利があります。

一 診療科目

精神科 平日 AM 9:00~12:00
 PM 2:00~5:00
 TEL 0495-73-1611
 FAX 0495-73-1616

一 診療時間

休診日 土曜日午後・日曜日・祝日・祭日
 (土曜日午前)

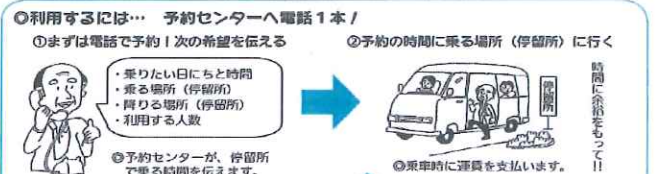
入院随時 各種保険取扱い
 完全予約制となっております。



はにぼん号・もといずみ号のご利用案内

はにぼん号・もといずみ号とは…予約に合わせて停留所から停留所まで送迎する乗り合いバスです。本庄北・児玉山間では9人乗り、本庄南・児玉市街地では4人乗りの車両が運行しています。

はにぼん号(本庄北・本庄南・児玉市街地)の運行日時	
月~土曜日 (日曜・休日・12/29~1/3は運休)	午前8時~午後5時 ※最終降車時間は午後5時
◎もといずみ号(児玉山間)の運行日時 運行区域: 月~土曜日(日曜・休日・12/29~1/3は運休) 児玉山間や児玉市街地共通 運行時間: 午前8時~午後5時 ※通学用として、午前7時40分(いろは橋折返乗降)、午後6時10分(児玉中学校前)の運行をしています。席に余裕がある場合、予約のうえ一般の方も乗車できます。	



予約センター
 ☎0495-21-7797
 営業時間 午前8時~午後5時
 (日曜・休日・12/29~1/3は休み)

③降りる場所(停留所)に到着

思ったより簡単なんだね!
 みんなも、はにぼん号・もといずみ号に乗ってみてね!

⚠ 注意

- ・予約状況により、希望に沿えない場合があります(先の予約が優先されます)。
- ・降りる場所を利用するときは、行き予約と一緒に、予約することをオススメします。
- ・ほかのお客様も乗り合わせます。時間に余裕をもって、予約してください。

■予約できる日(予約センター休業日は除く)
 利用日の前の週の月曜日から利用日当日

例: ある月の19日に利用したい場合は、下記のとおり、7日~19日(例)の予約センター営業時間内に予約してください。

7日	8日	9日	10日	11日	12日	
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日

※キャンセルの場合は、必ず予約センターへ連絡してください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年も、イベント・行事等たくさん載せていき、広報誌「さくら」を通して、当院の様子をみなさまにお伝えできるよう、努めてまいります。どうぞよろしくお祈り致します。

2017年も皆さまにとって良き一年となりますように!!

編集発行

2017年1月

医療法人(社団)明雄会 本庄児玉病院

広報誌グループ

〒367-0212 埼玉県本庄市児玉町児玉 720

Tel. 0495-73-1611 fax. 0495-73-1616